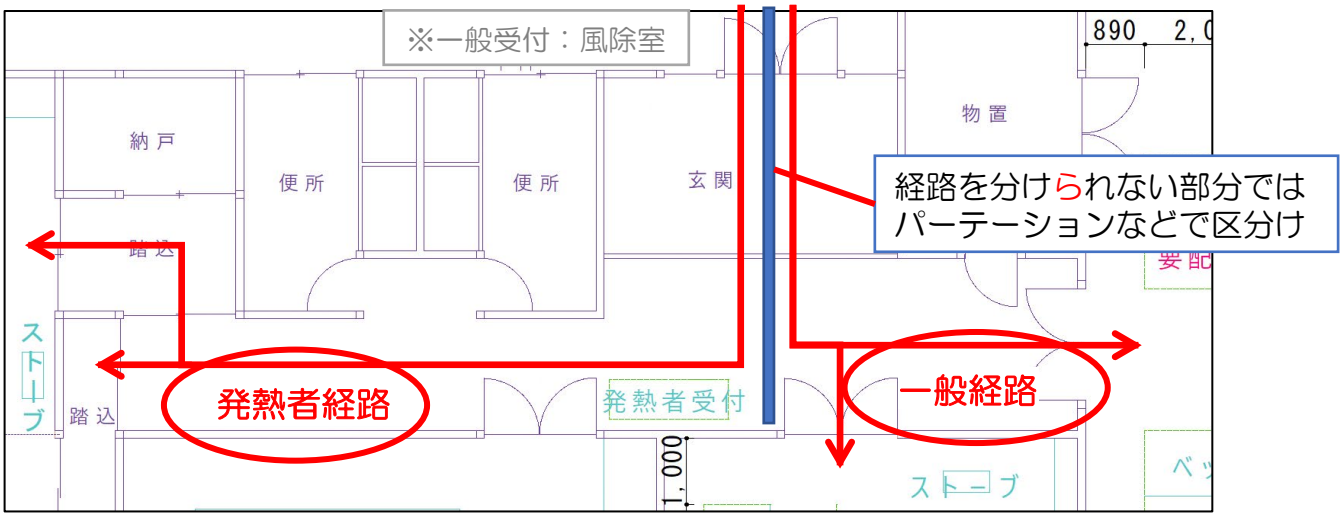
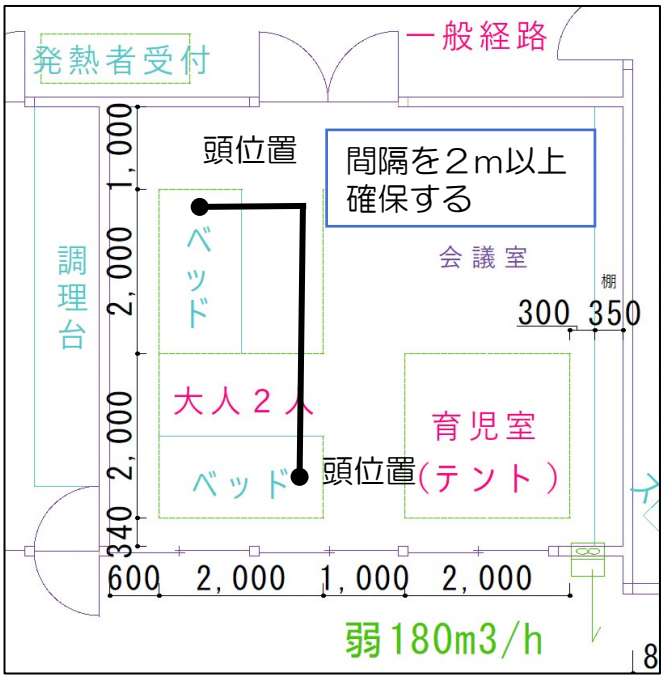
レイアウト案のポイント

- 一般の避難スペースと体調不良者（発熱者）等の避難スペースは、２以上の出入口がある場合、移動経路が重ならないようにします。
- 移動経路が重なってしまう場合は、廊下などにパーテーションで仕切りを設け、経路を分けます。
- 壁・仕切り等で隔離が可能な居室を優先的に体調不良者（発熱者）等の避難スペースとします。
- 避難スペースは２m×２m（１人分）が推奨されます。頭の位置を互い違いにし、座ったときも向かい合わせにならないようにします。
- 体調不良者（発熱者）等の避難スペースは、一般の避難スペースに空気が流れないよう排気側の部屋に設置します。
- 施設規模によって体調不良者（発熱者）等を収容できるスペースを確保できない場合は他の施設へ誘導を検討します。

経路を分ける



２mの距離をとる



食事スペースを分ける